

Be The Inspiration

Rotary International District 2760

インスピレーションになろう

12
2018 DEC

2018-19 ガバナー月信



あなたの街でロータリーを！
あなたの街からロータリーを！

CONTENTS

- 2 …… 表紙のおはなし
- 3 …… ガバナー便り
- 5 …… ろーたりーぱっちわーく
- 9 …… 新着ニュース 他



インスピレーションになろう

表紙の おはなし

写真提供：
渡辺真一幹事（三河安城RC）



「共に迎えた成人式(20周年)」

本年度、三河安城RCは創立20周年を迎えました。
20年前に認証状伝達式がデンパーク(安城市)にて挙行されました。
当クラブの誕生の地に、社会奉仕事業として、
時計塔・テーブル・ベンチの設置作業をし、市民の憩いの場を提供致しました。



「我々の考える 「インスピレーション」発信へ の回答」

我が市には通称デンパークと呼ばれる安城産業文化公園
と言うものがございます。
そこは農業を大切にきた歴史と近代においては都市
化が進む過程においてその交流を考え、憩いと安らぎの
場を提供されています。
正にこの公園が完成した時にうぶ声を上げた当クラブは、
認証伝達式もこの地で行いまたないメモリアルな地と
なって胸に深く刻み込まれています。
そこで、会長の「温故知新」という思いを形にしようと、
当時寄贈したもののリニューアルを含め会員の手に依っ
て丁寧に設置させて頂きました。
今回時計を設置したことは、図らずも？我々とともにこの20年と言
う成長の証を刻んで来ました…と言うメッセージにも繋がっています。

国際ロータリー 第2760地区
ロータリークラブ会員の皆様へ

The letter
from
Governor
ガバナー便り

11月の蒲郡で行われた当地区の地区大会は、多くの出席者のもと2日間の予定を晴天にも恵まれて終了することができました。改めてご参加頂いた会員の皆様やホスト頂いた蒲郡ロータリークラブに感謝申し上げます。

例えば1年以上も前に当時の高桑耐G補佐の取り計らいで蒲郡クラシックホテルで、蒲郡ロータリークラブの皆様とお会いし、お願いしたところからこの地区大会が始まりました。

すでに私の頭の中で『あなたの街でロータリーを』がありましたので、名古屋のホテルでない会場でやりたいとの思いは強くありました。

例年までの名古屋開催の内容をコピーするかのようには蒲郡で再現するのではなく、地方都市独自のスタイルや内容を持つ大会にしたいと思っておりました。そういう点からも前例のないことなので、蒲郡RCの実行委員会の皆様には大変なご苦勞をおかけいたしました。

大会の初日の午前中に会議をし、青少年フォーラムに米山学友も交えてのフォーラムをする、外来宿泊者の方でRI会長代理を囲む朝食会など、初の試みを色々と私から提案いたしました。当然実行委員会はそのままで考えてもいなかったでしょうから、大変なことをやることになったと思われたことと思います。

私はこの大会には、地方都市の方で地方都市の文化を理解できるRI会長代理の来訪を望んでいましたところ、鹿屋市の田中俊實様に決まったことも、盛会の大きな要因であったと思っています。

田中RI会長代理の穏やかで内面から溢れ出る何とも言えない優しさと素朴な表現でのご挨拶は、この大会の雰囲気をととても良いものにして頂きました。ハッピークラブGO!は素敵なパフォーマンスでした。

ただ、地区諮問委員会を前日にし、RI会長代理のお迎えも重なり、私も地区幹事も実行委員長も進行リハーサルに立ち会えなかったことは、スケジュール調整上、問題であったと、準備をしていただいていた実行委員会の皆様には申し訳なく思っております。

しかしながら、実行委員会のすべての方と豊橋のスタッフの多くの助けを受けて、無事に本番を迎えることが出来ましたこと、本当に感謝しております。

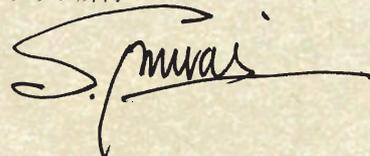
パネル展示や野外テントでの模擬店や晚餐会の趣向など、予想以上に大好評であったことは、遅くまで準備頂いた、実行委員会やスタッフの方々に、再度感謝申し上げます。

終了後、多くの方から賞賛の言葉もいただき、多くのメッセージもいただきました。すべての方が満足されたとは思いませんが、地方都市での地区大会開催が成功したと思っております。

「見事な団結力とエネルギッシュな運営、そして尖ったところを感じない優しさ溢れる素晴らしい地区大会でしたね。」

ご参加いただいた方からの、このメッセージを紹介して、地区大会のお礼のご挨拶とさせていただきます。

国際ロータリー第2760地区 2018-19年度ガバナー
豊橋ロータリークラブ所属



地区ホームページは[こちら](#)

ガバナーズウェブサイトは[こちら](#)

ロータリー その11 ぱっわく

村井ガバナー的まごころ

奉仕の理念について考える

奉仕の理想に集いし友よ、で始まるのは、ロータリーソング「奉仕の理想」である。

私が入会した20数年前は“Ideal of Service”を奉仕の理想と言ったが、英文は変わらないが、数年前にロータリーの目的の邦訳が現代的に変わった時に奉仕の理念となった。

邦訳であるから元の意味は変わってないと言うが、米山梅吉翁が訳されたと言われている奉仕の理想という言い方が私は好きだ。理想と言うと現実にはないものがそこにある、夢や希望や明日の姿を思い浮かべる。これに引きかえ理念と言うと、固い不変なものを私は思い浮かべてしまう。だからと言い張るつもりはないが、理想という言い方の方には夢があって好きだ。

さて、この奉仕の理念と言う言葉は難解である。私が地区職業奉仕委員長の時、他クラブに卓話で伺う時にいつも困ったのがこの言葉の意味である。今年度は地区活動方針で『奉仕の理念を学び、奉仕の実践をしよう』を副題に掲げた。そしてガバナー公式訪問の卓話でその解説もしてきた。

ロータリーの「超我の奉仕」や「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」という二つのモットーだけで奉仕の理念を説明するには、聞く側がロータリーにそれほど精通されていないとちょっとわかりにくい。

そこで、ありきたりであるが『思いやりの心』ということを強調してきた。あなたがして欲しいことを他の人にもしてあげましょう、という説明も加えて話をした。多くの宗教の教義にもこれと似たような表現が書かれていて、人として集団社会で生きて行くことの根幹の考えだと思う。

この思いやりを感じ、共に生きている共に助け合っているという意味から、共生・共感と言う言葉も併せ伝えた。しかしながら人によっては捉え方やイメージするシーンが違うと思うので、あなたの喜びが私の喜び、あなたの幸せが私の幸せと言う表現を強調し説明してきた。

思いやりとは同情することや慰めることだけでなく、手を差し伸べて乗り越えることであると思う。その根底は単なる偽善的な行為や金銭の施しなどでなく、さらに自己満足の為であってはならない。それがあなたの喜びが私の喜びである。良い汗をかいたではなく、喜んでもらえたということが大切ではなからうか。

だからと言って、誰かに認めてもらうということではなく、評価や名声を求めるものであってはならない。であるからして、この思いやりの言葉は奥深く、さらに奉仕の理念となると、さらに深い言葉であると思う。

思いやりとは実際は本当に難しいと思う。

相手の感情を考慮し声を掛けないという思いやりもあるだろうし、静かに見守る思いやりもあるだろう。

しかし、人は一人では生きてはいないということは確かである。ロータリーの奉仕活動は、思いやりの心を実践してこそ意味があるのではないだろうか。

現実の問題から未来に向かっての問題まで、世界で良いことをしよう、を合言葉に思いやりの心を持つ仲間づくりを進めることがロータリアンとして肝要だと思う。

この奉仕の理念はまた機会があれば、別角度から書いてみたいと思う。

RID2760 2018-19 ガバナー 村井 總一郎

ロータリー その12 ぱっわく

村井ガバナー的まころ

地区の現状について考える

地区大会が終わった。私は大盛況と思っているが、人それぞれの感想であるから評価は様々なことであろう。評価を求めてはいないがガバナーの思いが伝わっていればと思う。そのプログラムの中で地区現況報告として午前と午後に内容を分けて私がする予定であったが、進行時間の関係上、WEB上で伝えますとしたので、ここで報告させてもらうこととする。

ガバナー公式訪問で地区内の各クラブに行きクラブ会長幹事と色々な話をした。多くの会長さんは、楽しい例会をして多くの会員に毎回出席して欲しいと願っておられた。ロータリーの基本は楽しい例会の運営であるとの思いを強く感じた。例会の持ち方として、食事内容や卓話や同好会の報告など様々な工夫を話していただいた。

私からは笑いは起きるが私語のない例会の実践をお願いした。また今年度に会員のミニスピーチをしているクラブの話も聞いた。会長挨拶にも工夫をされているクラブが多くあった。いずれにせよ、会員とともに例会を通じてロータリーを楽しもうとの気持ちが伝わってきた。

会員増強については全てのクラブで会長の思いをお聞きした。積極的にプロジェクトとして会員増強を図っているクラブや、同好会への誘いをもとに増強しているクラブなどがある一方で、他奉仕団体との兼ね合いや、人口の流出で候補者探しに困っている話も聞いた。

また、良い人がいれば入会を誘うが積極的な増強はしないとか、現状の仲間です十分と言われるクラブもあり、さらに退会防止に努めての会員維持が精いっぱいという悩みも聞いた。

R Iの会員増強に逆らってはいけませんが、伸ばせるクラブは大いに増強し、無理なクラブは現状維持も止む無しとも感じた。

つまり、無理をして数合わせの増強には走らないで欲しいということである。前にも書いたが会員増強がクラブの弱体とならないことを願う。

そういうことから、クラブ内の研修について伺ったが、ほとんどのクラブで入会後の研修は行われていなかった。新会員の手引きとなるような研修のテキストのようなものを作っているクラブは少なく、多くは先輩会員と食事を取りながら、ロータリーの話聞いてロータリアンとして成長を望むクラブが多かった。これも一つの方法でロータリーを知る機会となるであろう。

地区では今年度は2月に新会員研修会を予定しているので、入会3年未満の方の出席をお願いし、地区研修委員会から講師の派遣もできるので、活用を考えてもらうように話もした。研修と言うと勉強会となってしまうそうだが、ロータリーの楽しさを早く知るうえで大切なことであると思う。

9月末時点ではあるが当地区の会員数は4,951人となり、日本で1番会員の多い地区となった。113名の増加である。これには他地区の同期ガバナーも驚いていた。数を競っているわけではないが、奉仕の喜びを分かち合い助け合う仲間が増えていることは喜ばしい事であり、各クラブ会長と地区増強委員会に感謝申し上げる。このまま年度末を迎えたいと願っている。

会員増強として総数で仲間が増えているこの地区は、各クラブの奉仕活動の取り組みを踏まえて、とても素晴らしい会員がいる地区であるというのが現況の報告である。

RID2760 2018-19 ガバナー 村井 總一郎

新着情報をホームページ(HP)で公開しています

各種お知らせをはじめ定期配信コンテンツは、ガバナー月信発行に合わせHPにて更新します。各バックナンバーも閲覧しやすくなりました。

<https://www.rotary2760.org/g18-19/>

▼コンテンツタイトルをクリックするとリンク先PDFを開きます▼

定期配信

■ガバナー月信サイト

村井ガバナーのコンテンツやブログを掲載
メニュー>ガバナーズウェブサイト(各ページへ)

■ハイライトよねやま

メニュー>月次報告 (PDF)
vol.224 2018/11/13発行

■コーディネーターNEWS

メニュー>月次報告 (PDF)
2018年12月号 2018/11発行

■財団室ニュース

メニュー>月次報告 (PDF)
2018年12月号 2018/11/29発行

■文庫通信だより

メニュー>月次報告 (PDF)
次回1月号掲載

ロータリー文庫より

これまで文庫通信につきまして、毎月25日発行しておりましたが、より厳選し、今後は隔月の「偶数月」に発行することとなりました。次号374号の発行・掲載は、12月25日(月信1月号)となります。

■風の便り

メニュー>月次報告 (PDF)
vol.4 (通刊51号) 2018/11/10発行

■会員数と出席率

メニュー>月次報告 (PDF)
※2018年12月度分は2019年1月中旬以降の配信となります。

お知らせ・お願い

■ガバナー候補推薦について

今年度の推薦は終了しました。

■各種賞・表彰の概要について

メニュー>お知らせ

■立法案提出のお願い

今年の提出期限は終了しました。

■WFFレポート

メニュー>月次報告
WFF参加報告書をHPに公開しています。ご覧下さい。

■地区大会レポート

メニュー>月次報告
地区大会参加報告書をHPに公開しています。ご覧下さい。

■青少年交換のお願い

今年の募集は終了しました。ご協力有り難う御座いました。

活動報告/その他更新記事

「疾病予防と治療月間」

によせて

地区職業研修チーム(VTT)委員長 福田 哲三

ガバナーやスタッフのブログも

ガバナーズウェブサイトでも更新中!

■分区内交流だより

本年度は、他クラブ例会への積極的参加を推進しています。

■地区委員会報告

20委員会全ての活動情報を随時更新しています。



最新情報の取得はメールマガジンが便利です!
最新記事リストはメールマガジンでも配信します。リストをクリックするだけで
閲覧したいページをブラウザで展開します。是非、活用ください。

